

中国のモータリゼーションと高速道路整備

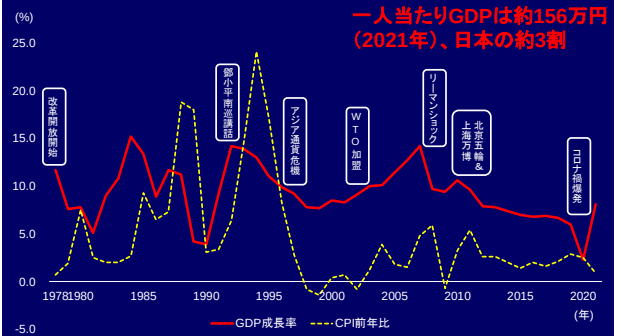
趙 勝川
大連理工大学/早稲田大学
2023年4月19日

内容

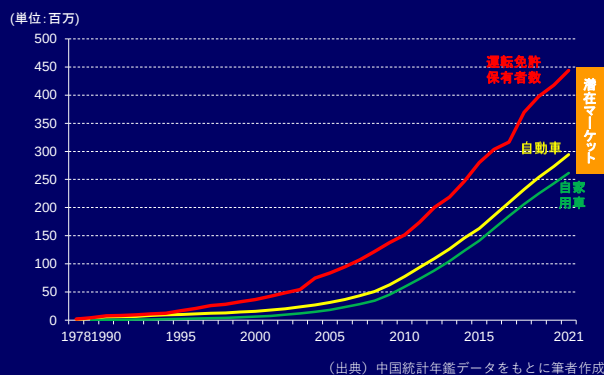
1. 高度経済成長とモータリゼーション；
2. モータリゼーションの問題点；
3. 高速道路整備計画及び整備状況；

1.高度経済成長とモータリゼーション

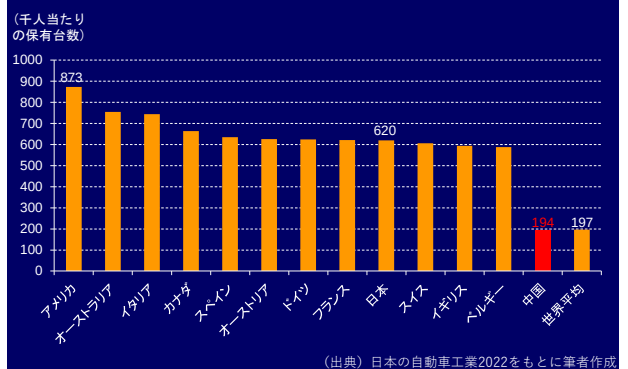
高度経済成長(1978年以降)



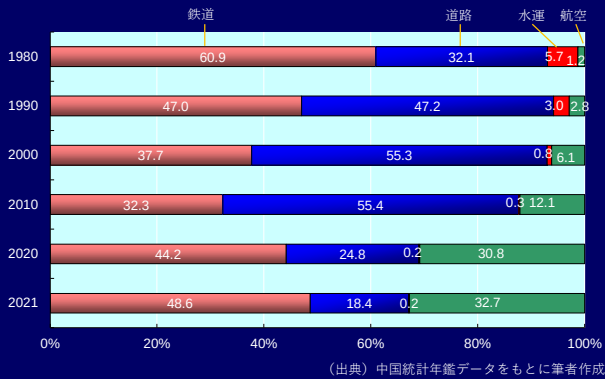
急激なモータリゼーション



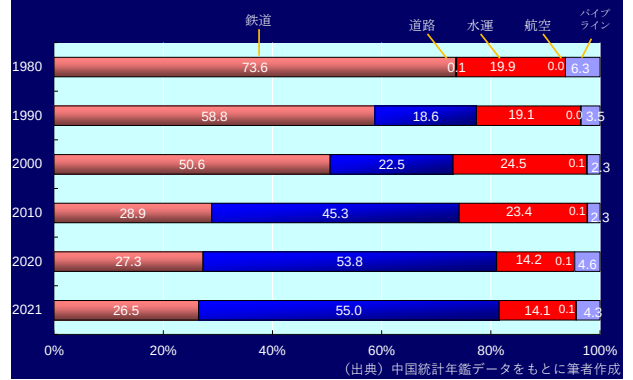
主要国の四輪車普及率(2020年末)



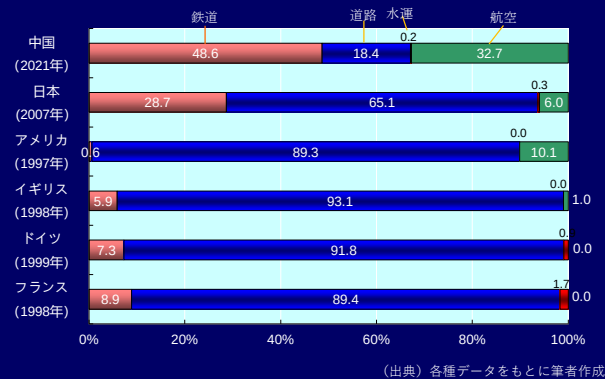
旅客輸送量(人キロ)の分担率(%)



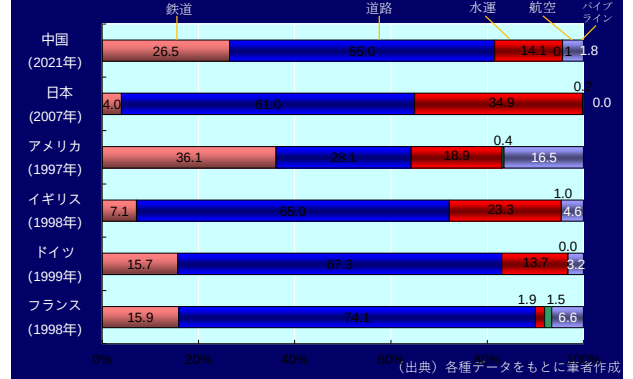
貨物輸送量(トンキロ)の分担率(%)



旅客輸送量の分担率の国際比較



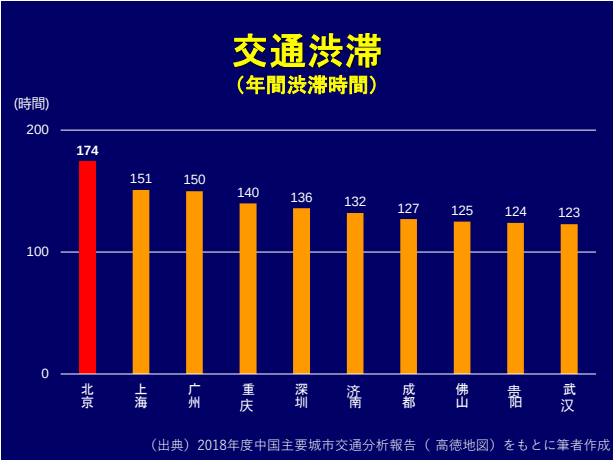
貨物輸送量の分担率の国際比較



2.モータリゼーションの問題点

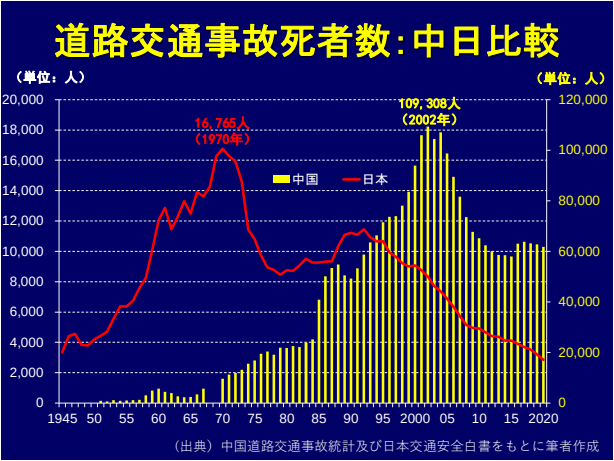
モータリゼーションの問題点

- 交通渋滞;
- 交通事故;
- 環境問題;
- エネルギーの浪費;
- 空間の浪費;
- 健康問題、等々;



交通渋滞

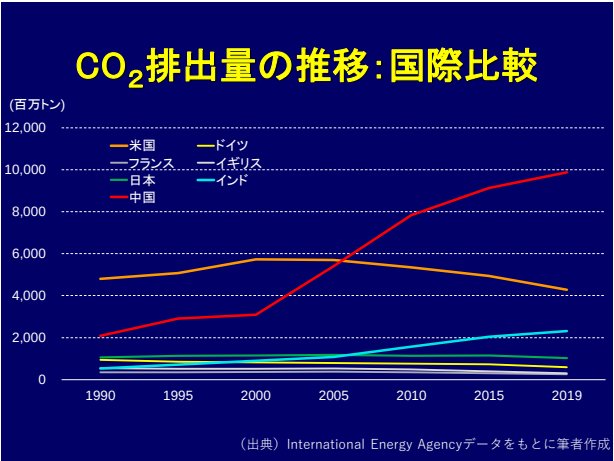
- 2018年の世界資源研究所 (WRI) の調査結果によれば、北京市では道路交通渋滞による一日の平均費用が1.8億元 (約35億円) となり、北京市のGDPの約6%に相当する。
- 《2018年度中国主要都市交通分析报告》(高德地図) の試算では、北京市ピーク時の平均通勤時間が毎日88分であり、渋滞に巻き込まれる時間が45分である。



道路交通事故死亡率: 国際比較

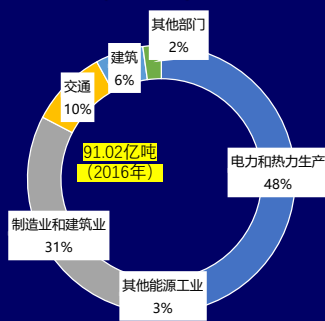
	人口10万人あたり 死者数 (人/10万人)	自動車等1万台あたり 死者数 (人/1万台)	自動車走行台キロあたり 死者数 (人/1億台キロ)
中国	4.5	2.96	7.6
米国	11.4	1.35	0.7
日本	3.5	0.57	0.6
ドイツ	3.9	0.63	0.4
フランス	5.3	0.88	0.6
イギリス	2.7	0.45	0.3
インド	11.0	31.8	26.0

(出典) 自動車交通研究2021, 日本交通政策研究会



セクター別のCO₂排出量

(2016年)



(出典) 中国気候与生態環境演変：2021

3.高速道路整備計画及び整備状況

高速道路整備計画策定の経緯

- 2001年：国家高速道路網の必要性、可能性及び計画内容について予備検討が始まる
- 2002年：本格的な検討が始まる、最初報告書が提出
- 2003年3月：国务院(内閣)が国家高速道路網計画の策定を認める
- 2005年1月：「国家高速道路網計画」が公表される
- 2013年5月：「国家道路網計画 (2013年—2030年)」が公表され、国家道路網総延長が約40.1万キロ、そのうち国家高速道路網が「放射線7本、南北線11本、東西線18本」(いわゆる“71118”)と構成され、総延長が約13.6万キロとなる。
- 2022年7月：「国家道路網計画」が公表され、国家道路網総延長が約46.1万キロ、そのうち**国家高速道路総延長が16.2万キロ**と訂正される。

計画目標

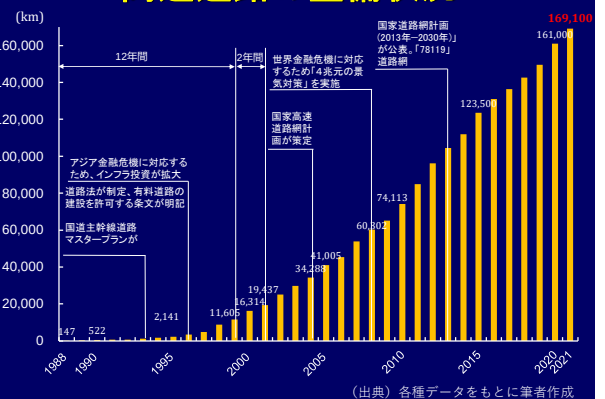
- ・ 地级以上の各都市、都市部人口が10万人以上の市・県、重要な国境都市をつなぐ。
- ・ 北京から省会(県庁所在地)までカバーし、省間・都市間においてマルチコリドーを確保する。アジアハイウェイや国際協力コリドーに連絡する。
- ・ 重要な総合交通ターミナルと連絡し、総合交通システムを建設する。
- ・ 環境保全に注意し、総合交通システムのインテリジェントかを目指す。
- ・ 交通システムのレジエンスを強化する。

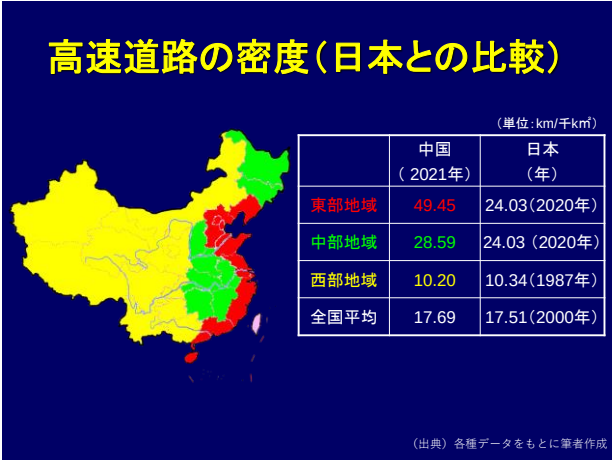
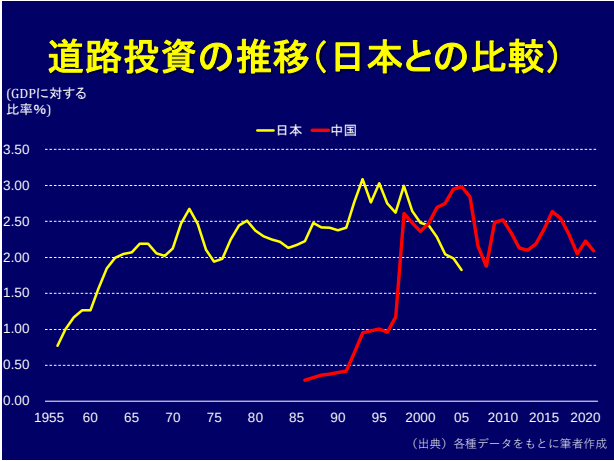
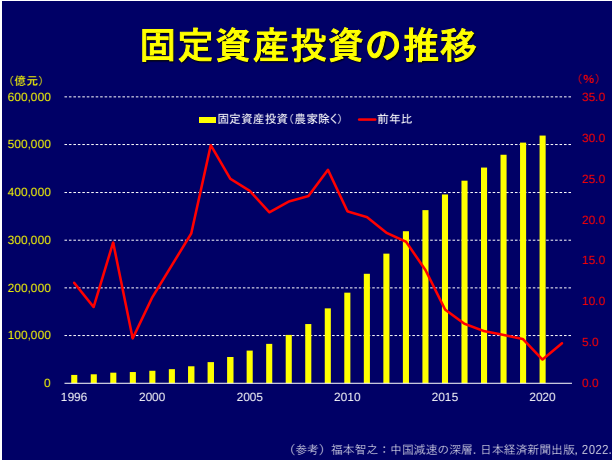
国家高速道路網計画図

附件3 国家高速公路网布局方案图



高速道路の整備状況





- ### まとめ
- “圧縮近代”。質よりまず量を。
 - モータリゼーションの進展が速すぎる。2008年以降、自動車保有台数は毎年1,000万台～2,000万台増加(インドネシア保有台数に相当)。中産階級による自家用車の購入がけん引役。2021年、四輪車製造台数と販売台数はともに2,600万台を超え、全世界の32.5%と31.8%を占めている。
 - インフラ(一般街路、駐車場等)整備は追いつかないため、交通渋滞や違法駐車が深刻。
 - 交通公害(事故・汚染など)が課題。
 - 自動車文化の育成に時間がかかる。自転車文化や籠(駕籠)文化からの転換が必要。意識改革と行動変容が重要。
 - 量から質への転換が求められる。「交通強国」、「双炭戦略」など。
 - 日本の経験(成功と失敗)を学びたい。

